

乙の消防と

イメージとは全く違った消防団の活動。

—— 本日はよろしくお願ひします。まず、入団の経緯を聞かせてください。

石垣 消防団員だった祖父と父の活動を幼い頃から見ていて、次第に消防活動に興味を持つようになり、入団しました。

藤井 私もそうですね。地域のために一生懸命だった父の姿を覚えています。

佐々木 私は消防団に欠員が出るということで誘われました。ただ、正直はじめは消防団にあまりいい印象がなくて…。

—— 入団前の消防団はどんな印象でしたか？

佐々木 全く活動内容がわからなくて不安でした。でも、**活動してみるとポンプ操作の訓練など面白いことが多くて、今は入団してよかったと思っています。**



初めは不安で、でも今は、消防団に入ってよかったと思う。

板橋 ポンプ操作は、やってみないとわからない面白さがありますよね。私は入団前には「朝が早そう」「訓練が多そう」というイメージだったのですが、全然そんなことはなかったです。

茂木 私は男性と同じ活動をするのかと思っていたのですが、うちの地域では女性は現場に出動しないことになっていて、啓発活動や後方支援が中心でした。

藤井 そうそう。私も男性の体力についていけるか心配だったので、**女性ならではの活動が多くて安心しました。**

さまざまな取り組みが育む地域との絆。

—— 入団してよかったことや、活動中のエピソードを教えてください。

佐々木 私は地域の方とのコミュニケーションが増えて、仕事面でもスムーズなやりとりができるようになりました。

藤井 私も地域との距離が縮まっていると感じています。うちの消防団では去

年から**団員が子どもと一緒に防火を呼びかける「子連れ巡回」**を始めたんです。

私も小2の娘と地域を回っているのですが、子どもということで住民の方が声をかけてくれることが増えました。お菓子や果物をもらうこともあるんですよ。

石垣 それはいいアイデアですね！育児中の団員も参加できるし。羽後町でも提案してみようかな。

板橋 鹿角市の消防団では安全面から子どもとは距離をとっていたのですが、巡回なら安心だし、小さい頃から消防団に接することで親しみを感じるようになるかもしれませんね。

茂木 私は**人命救助や防災などの知識を身につけられた**ことがうれしいです。

板橋 防災の意識は高くなりますよね。私も防災面から地域を見るようになって。最近では平成30年5月の豪雨でも出動しましたが、大雨による水害が多いので気を付けています。

多様なスタイルで参加できる消防団のカタチ。

—— 報酬や手当のことはご存知でしたか？

藤井 入院見舞金など、さまざまな共済制度があることは知りませんでした。

茂木 私も**退職報償金まである**ことは驚きましたね。

普段はそれぞれの消防団で活動する若手団員5名が一堂に会し、座談会を開催。入団の経緯から実際の活動内容、ユニークな取り組み、気になる報酬のことまで、なかなか聞くことができない消防団の“本音”をご紹介します！



子どもと巡回していると地域の方が「これ、持ってけ」ってリンゴをくれたり。すごく温かいですね。

石垣 秋田県内の消防団の多くは、国の基準より報酬が低いので、団員確保のためにも上げてもらえればと思っています。団員の確保は、大きな課題ですね。

佐々木 団員不足の根底には、消防団の活動が誤解されている問題があると思います。仕事より活動を優先させなきゃいけないとか、飲み会ばかりだとか(笑)。昔はそういう一面もあったかも知れませんが、今は**自分の生活優先で無理のない範囲で参加すれば問題ありません。**

藤井 家事や育児が忙しいときは休んでもいいし、みんなでフォローあいます。あと、女性団員がいることを知らない方もいるのもっとPRしないとイケませんね。

—— 最後に今後の目標を教えてください。

石垣 私たちの世代が上手く若手と先輩方のパイプ役になれればと思います。

板橋 若い人たちに入団してもらえるよう消防団の認知を広めつつ、活動しやすいように環境も整えていきたいです。

—— みなさん、本日はありがとうございました！

一同 ありがとうございました！

若い人たちに、本当の消防団を知ってほしい。



座談会に参加していただいたみなさんです。

若い力で地域を守ろう！

育児中の団員もたくさんいます！

無理のない範囲の参加でOK！

私たちと一緒にがんばりましょう！

困っている人に手を差し伸べよう！

Q1 何歳から入れますか？ 学生でも入れますか？

18歳以上の健康な方であれば、誰でも入団できます。高校生、大学生も活躍しており、女性も増えています。

Q4 どんな訓練があるのですか？



応急手当訓練

消火や救助、応急手当など、団員として必要な基本的知識や技術を身に付ける訓練を行います。最近では、ドローンやオフロードバイクを活用した情報収集訓練なども行っています。

Q6 消防というと火災のイメージですが、どのようなときに出勤するのですか？

火災の他、地震、台風、集中豪雨などの自然災害時に出勤します。消火や救助といった災害現場での活動以外に住民の避難指導や避難所の運営支援など、幅広い役割を担っています。

Q2 どんな職業でも良いのですか？

どんな職業でも大丈夫です。会社員や自営業、公務員など様々な職種の方がいます。

Q3 報酬や手当があるのですか？

あります。役職に応じた報酬年額の他、活動1回または1日あたりの出勤・訓練手当(下の表を参考)が支給されますが、地域により金額や支給方法が異なります。また、勤続年数に応じた退職報償金の支給もあります。お近くの市町村にご確認ください。

階級	報酬年額	出勤手当	訓練手当
団員	12,000円～	1,800円～/回 または 2,000円～/日	1,300円～/回 または 2,000円～/日

※階級と市町村によって金額は異なります。※出勤手当と訓練手当については市町村によって「回数」でカウントする地域と「日」でカウントする地域があります。

消防団

教えて

消防団に関する素朴な疑問。聞いてみました。

Q5 消防操法とは何ですか？

ポンプや放水器具などの取り扱い方や操作方法のことです。これらの基本を徹底し、火災現場を想定した実動訓練を行います。また、消火技術のスピードや精度を競う『消防操法大会』などもあり、秋田県には全国大会で優勝するほどの技術を持つ団員もいます。



Q7 入団のメリットはありますか？

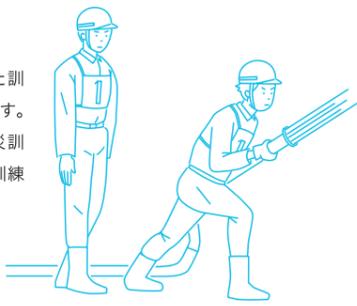
いざという時に役立つ防災や人命救助の知識・技術の習得に加え、団員との交流や地域住民との距離が縮まるなど、人とのつながりが広がります。また、入院見舞金、結婚祝い金など、福祉共済や互助会の制度も魅力です。

消防団の仕事図鑑

平常時の活動

消火・防災訓練

火災現場での活動を想定した訓練(放水訓練等)を行っています。また、各地域で開催される防災訓練にて、自主防災組織等への訓練指導等を実施しています。



救命講習会

万が一に備えて、救急車が到着するまでの応急手当方法や、AED(自動体外式除細動器)の使い方などを講習会で指導しています。



防火啓発活動

家庭を訪問しての防火指導、幼稚園での防火教育など啓発活動を行っています。



災害時の活動

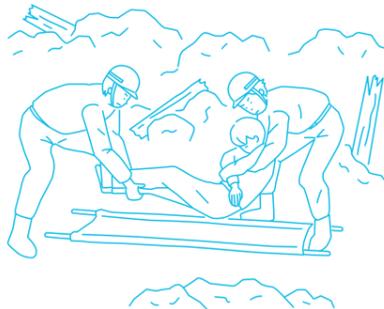
消火活動

火災が起こった際は、自宅や職場から現場へ駆けつけて消火活動を行います。消防隊員よりも先に現場に到着することもあるため、初期消火や消防隊員の後方支援などをその場に応じて展開します。



救助活動

地震や風水災害などといった自然災害が発生した場合は、地形や道路網、世帯状況などを熟知した消防団員が、迅速に避難誘導、救助・救出を行います。



入団8年目の団員

ある消防団員の1年

4月初旬

春の火災予防運動で地域の巡回 夕方に1回

4月下旬

分団での消火等の訓練 夕方に1回

6月

操法大会に出場する団員の訓練をサポート 夕方に毎週1回

7月初旬

地域の消防操法大会の応援 夕方まで

9月

県消防協会支部による研修会 午前中

10月中旬

消防署で分団の訓練 午前中

11月初旬

秋の火災予防運動で地域の巡回 夕方に1回

12月下旬

歳末特別警戒で地域の巡回 夕方に1回

1月上旬

消防出初式に参加 午前中

※実際のスケジュールは入団年数や役職によって異なります。もちろん仕事やプライベートの用事など、ご自身のペースに合わせた参加でOKです。

「もしも」の時のために。仕事やプライベートなど、毎日忙しくても、それぞれのスタイルで参加できるのが消防団です。消防団の活動は、消火や防災だけではなく、あなただからこそ、できることがたくさんあります。

◎消防団についてもっと知りたい方は、お近くの市町村へお問い合わせください。
◎消防団の詳細情報は、総務省消防庁のホームページをご覧ください。http://www.fdma.go.jp/syobodan/



消防団 検索

お問い合わせは
由利本荘市消防本部 総務課総務班
電話0184-22-4282 FAX0184-23-2748
E-mail:fdhonbu-soumul@city.yurihonjo.lg.jp
または
各総合支所市民サービス課振興班へ
(矢島・岩城・由利・大内・東由利・西目・鳥海)